

(5月27日 定時社員総会)

挨拶

## 挨拶

会長  
田中稔一



皆さん、こんにちは。日本知的財産協会会長の田中でございます。  
会員各社の皆様には、日頃、当協会の活動に多大なご支援ご協力を戴き、厚く御礼申し上げます。また先ほど高倉成男先生には「知財の哲学」という貴重なご講演を賜り、まことにありがとうございました。

さて、現在私たちは、爆発的な人口増加等によるエネルギー・食糧・水の不足や地球温暖化・環境汚染といった人類全体に及ぶ深刻な問題を抱えており、これに対し、IoTやAIなどを駆使した「第四次産業革命」といわれるイノベーション等により、懸命にこれら問題の解決に取り

組んでいるところです。そして、この問題解決の過程で創成される様々なイノベーションの価値を維持し飛躍的に高めるための「知財戦略」というものが、あらためて注目されている、と感じております。

また世界では、日中韓FTA・日欧EPA・RCEP・AEC・米欧TTIPなど様々な経済連携によるグローバル化が一段と加速しております。その中で昨年のTPP交渉では、ご高承のとおり医薬や著作権の保護期間をめぐる最後まで熾烈な交渉が行われ、知財戦略というものが国家戦略あるいは企業戦略にとり如何に重要であるかが、あらためて世界に周知されたのではないかと思います。

こうした中、この2月に、当協会は「市場創生と知財戦略～多様な知財でチャンスをつかめ！」をテーマに第15回JIPA知財シンポジウムを開催しました。945名もの大勢の参加者を得て、会員各社の皆さんとともに知財戦略の重要性を再認識し、今後の私たちの「新たな知財戦略」の進むべき方向性を共有化できたのではないかと思います。

またこの一年の当協会の活動としては、法改正された職務発明制度や営業秘密保護制度の適切な活用・定着に向けた支援、経済連携を含む様々な知財政策への意見発信、WIPO-GREENなどWIPOとの協力活動など、各プロジェクト・各専門委員会の活動を精力的に推進するとともに、他に比類のない当協会独自の研修制度で14,896名もの多数の研修生を受け入れるなど、大きな実績をあげました。世界最大の知財制度ユーザー団体として内外にプレゼンスを大いに高めるとともに、会員各社の知財戦略強化に大きく貢献できたのではないかと思います。更に今年からは、経団連へも加盟し、当協会のプレゼンスを一層高めていくことができるのではないかと考えております。

こうした活発で有効な協会活動で成果をあげることができましたのも、偏に会員各社の皆さん・理事の皆さん・事務局の皆さんの献身的なご努力とご協力の賜物と、あらためて深く感謝申し上げます。

昨今は、政治的には、アメリカ・ロシア・イギリス・フランス・中国などの主要国で軒並み「保護主義」「排他主義」が台頭し、中でもアメリカはポピュリズムとともに再びモンロー主義に回帰しつつあるとさえ思われ、正にGゼロ、世界のリーダー不在が顕著となりました。相変わらずの悲惨なテ

口の蔓延、中東の混乱などとともに、世界の政治は益々混沌として参りました。また経済的にも、中国や新興国の深刻な地盤沈下に加え、エネルギー市況の暴落、株価や為替の乱高下などにより、日本のみならず世界全体の経済に暗い影を落としております。

しかし、こうした世界の沈滞ムードの中でも、シェールガス革命を実現し、ICTビジネスの急成長によって、国家としての「ビジネスモデルの変革」に成功しつつあるように見えるアメリカは、今後の私たちが目指すべき「経済モデル」の一つのヒントになるかも知れません。そして、このアメリカのICTビジネスを押し上げ、ビジネスモデルの変革を確かなものに行っている重要な要素として、ビッグデータ、コンテンツ、AI等での知的財産の確保と知財戦略の積極的な活用があげられるのではないかと思います。正に、知財戦略がビジネス成功の一つの鍵となっております。

これからも経済のグローバル化は更に加速する一方で、保護主義やナショナリズムの台頭によって国家間の政治・経済の利害の対立は益々激化してゆくと思われそうですが、だからこそ「協調と競争」の知財戦略が一段と重要視されることになっていくのではないかと感じておるところです。

また、直近の知財の具体的な問題としては、中国での知財訴訟の急増、アメリカのパテントトロール紛争の拡大等によってグローバルビジネス展開における脅威が増大しており、一方、欧州では統一特許裁判所（UPC）の設立に向けた動きが具体化するなど、私たちにとって大きな環境変化が起こって参りました。

こうした認識の下、今年の当協会の重点テーマとして、「知財人材の育成」等とともに、「グローバルビジネス展開における知財戦略の強化」を挙げております。このため、当協会・経団連・WIPOの共催で、この6月3日に国連大学にて、グローバルビジネスを展開中の経営者の方々を対象に、「グローバルビジネスにおける新たな脅威に対抗する」をテーマにして、WIPOのFrancis Gurry事務局長、保岡興治衆議院議員（自民党知的財産戦略調査会会長）、当協会の御供俊元副会長といった錚々たる講師による「企業経営者向けグローバルビジネスシンポジウム」を開催する予定です。今年度はこのシンポジウムを始めとして、会員各社の皆さんとともに知財のグローバル戦略の強化に向け注力して参りたいと考えております。

“Creating IP Vision for the World!”

会員各社の皆さんの益々のご発展と当協会の更なる飛躍を祈念致しまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。